

医療技術部

部長 米田 和夫

安全で良質な医療サービスを提供できるように

高度先進医療を担う大学病院に相応しい医療技術部として、優秀な人材を確保し、多種・多様化する臨床側からのニーズに柔軟に対応し、安全で良質な医療サービス（検査結果報告・治療支援など）を提供できる組織体制を目指しています。

業務体制

臨床検査部門（臨床検査技師63名）、放射線部門（診療放射線技師57名）、リハビリ部門（理学療法士21名、作業療法士4名、言語聴覚士3名、視能訓練士7名）、臨床工学・歯科部門（臨床工学技士20名、歯科衛生士1名、歯科技工士1名）、特殊技術部門（臨床検査技師2名、臨床工学技士2名）の5部門で組織構成された、国家資格を持つ医療技術系職員の専門家集団です。



業務内容

臨床検査技師は検査部、病理部、輸血部などで臨床検査を、診療放射線技師は放射線部で画像診断検査・放射線治療を、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士はリハビリーション部で患者のリハビリを支援し、臨床工学技士は臨床工学技術部で手術中的人工心肺装置や透析中の透析機器管理を行っています。

特色

臨床検査部門は、国際的にも通用する良質な検査を診療側に提供することを目標に、2009年度にISO15199認定を取得しました。

放射線部門は、最新の医療機器を導入して最先端の画像診断・放射線治療を提供しています。

リハビリ部門は、2009年4月から理学療法を土曜日も実施し、患者の早期回復を支援しています。

臨床工学部門は、高性能な機器を使用して、それに習熟した技士が安全な医療を提供しています。



事務部

部長 塩崎 英司

多岐にわたる事務を処理し、迅速円滑な病院運営をサポート

本院だけではなく、大学院医学系研究科・医学部における多種多様な事務について、各部署と連携を取りながら、迅速かつ円滑に処理しています。

業務体制

事務部長の下に、事務部次長、総務課、人事労務グループ、学務課、経営企画課、経理課、施設管理グループ、医事課、医療サービス課、大幸地区事務統括課を置いています。

業務内容

■総務課

病院の管理運営に係る企画・立案および改善に関する業務、広報関係業務、臨床研修関係業務ほか

■人事労務グループ

職員の人事・給与・労務管理・福利厚生に関する業務、労働安全衛生に関する業務ほか

■学務課

学生の身分に関する業務、教務に関する業務、学生生活に関する業務、学生支援に関する業務、国際交流および留学生に関する業務ほか

■経営企画課

病院経営の企画に関する業務、予算・決算に関する業務、臨床受託研究に関する業務、共同研究、受託研究、受託事業および寄付金などの外部資金の受入れに関する業務、科学研究費補助金などの補助金に関する業務、病院経営の調査・分析・評価・改善に関する業務、国立大学病院管理会計システムの運用に関する業務、病院総合情報システムの開発・運用・管理に関する業務ほか

■経理課

医薬品・医療材料などに関する業務、患者給食に関する業務、特定調達契約に関する業務ほか

■施設管理グループ

病院の将来計画に係る施設、設備などの企画・立案および改善に関する業務、院内の環境整備に関する業務、資産管理に関する業務、警備・防火・防災に関する業務ほか

■医事課

診療契約、診療費の請求・収納などに関する業務、患者の受付などに関する業務、患者の診療報酬請求に関する業務、診療報酬に係る包括評価制度の運用に関する業務、診療録の管理・開示に関する業務ほか

■医療サービス課

患者サービスや苦情・相談などに関する業務、診療予約に関する業務、中央診療施設等の事務に関する業務、院内感染防止対策の事務に関する業務ほか

■大幸地区事務統括課

医学系研究科（大幸地区）および保健学科の事務に関する業務



Part.2